

中山学区連合町内会の管内では、中川や砂川、笹ヶ瀬川の堤防を抱える町内会が岡山県の実施する「おかやまアダプト推進事業」活動団体の認定を受けて、河川の環境美化の活動を行っています。しかしながら、近年高齢化や担い手不足により、将来にわたってアダプト活動を継続することが困難になりつつあります。特に、急勾配の堤防法面の草刈りについては、高齢者には重労働で危険を伴う作業のため、作業の負担軽減・安全性向上を図っていくことが大きな課題となっています。

こうした課題を解決していくため、岡山県民局と協議を重ねていたところ県の保有する自走式のラジコン草刈機をアダプト活動団体等へ貸し出しする制度を活用してはどうかという提案がありました。貸出しの条件として、安全確保のため、講習会への参加が必要であったため、尾上町内会から今年度1名が講習会に参加し、自走式草刈機を借り上げることができました。



連合町内会では、自走式ラジコン草刈機の有効性や安全性を確かめるため、岡山県からラジコン草刈機1台を借り受けて、8月25日に中山こども園横の砂川堤防でテストを行いました。続いて2回目となる11月6日、尾上町内会の協力を得て笹ヶ瀬川下流（ももっ子広場付近）でラジコン草刈機によるテスト運用を行いました。



参加者からは自走式ラジコン草刈機は作業の負担軽減・安全性向上に極めて有効であるとの感想をいただきました。



11月6日に行われた自走式ラジコン草刈機による作業の風景をビデオ映像に収録しましたのでご参考までにご覧いただくとともに、他の町内会でも講習会に参加をしていただき自走式ラジコン草刈機の活用をご検討いただければと思います。



中山学区連合町内会 会長 次田泰裕

「おかやまアダプト推進事業」

地域住民、企業、各種団体等の活動団体と行政が連携して美しいまちづくりを目指す「おかやまアダプト推進事業」は、認定を受けた活動団体が一定区間の河川、海岸等を自らの養子（アダプト）とみなして、活動の主役となり定期的な清掃美化活動を行う制度で、岡山県では県管理河川、県管理海岸について、平成 13 年度から実施されています。